

西川町立西川小学校

施設概要

事業主体：西川町

施設名称：西川町立西川小学校

所在地：西村山郡西川町大字海味 1234

用途：小学校



《外観写真》深い軒の出とその下に廻る「雁木」によって奥行きある外観を特徴付けている

●施設の特徴、内容

山形県中央部月山のふもとに位置する西川町は広大なブナ原生林等を有し、これを源とするきれいな水と林業が盛んな町として知られている。本校は町内5つの小学校を統合するために、寒河江川に隣接し月山を望む町の中心部に新たに敷地を造成して計画され、各学年2クラス全児童数280名を想定している。

●配置計画について

中庭を囲んでコの字型に配置される校舎は、各所から中庭を介して校内活動が見通され、子ども達が自然に校内活動に触れることで知的関心が喚起されることを目指している。低学年生は、教室を他学年の影響が少ない位置に配置している。中高学年の教室は、それぞれブロックとして2階に配置し、各ブロック用階段により学年の領域が緩やかに設定されることで、各学年が学習に集中できる環境をつくっている。

北立面図



■建物情報

階数：地上2階 塔屋1階

構造：鉄筋コンクリート造、一部木造・鉄骨造

小屋組方式：集成材接合金物工法

敷地面積：49,610 m²

延床面積：6,977 m²

各階床面積：1階 4,027 m²

2階 2,944 m²

塔屋 6 m²

最高軒高：12.2m (体育館)

最高高さ：18.9m (体育館)

耐火・準耐火：準耐火、一部耐火

■主要仕上

外部仕上

(屋根)：カラーGL鋼板立てハゼ葺き

一部アスファルト露出断熱防水

(外壁)：コンクリート杉板化粧打放し保護塗装

一部杉下見板 t15 mm張り保護塗装

一部セメントボード t12 mmの上アクリルリシン

(開口部)：木製建具 アルミサッシ スチールサッシ

内部仕上

(床)：杉圧密フローリング t12 mmウレタン塗装

(壁)：杉縁甲板 t12 mm張り保護塗装 一部掲示クロス張り

(天井)：杉板目透かし張り



《低学年ワークスペース》右手に4教室が円弧状に連なる



《高学年ワークスペース》

《使用木材》



杉 513.6㎡、唐松等 150.4㎡
計 664.0㎡【県産木材 513.6㎡】

●使用木材について

地元産杉材は板材として用いた内外装のほか大断面集成材として用いている。工事に際し、事前に町が地元の製材組合に単独に発注することで、予定工期内での地域産材の活用が可能となった。

内外装の壁天井に加えて、構造集成材や圧密加工することで強度を増したフローリング、木製建具、造作家具等、可能な限り地元産杉材を活用する計画とした。

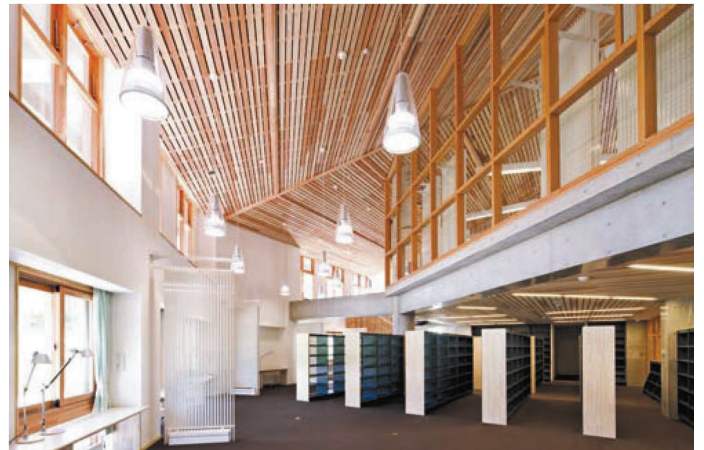
●設計における工夫点

深い軒の出とその下に廻る「雁木」は外観の特徴だけでなく降雨や厳しい風雪から外壁をまもり、冬季の外部動線を確保する役割も担っている。

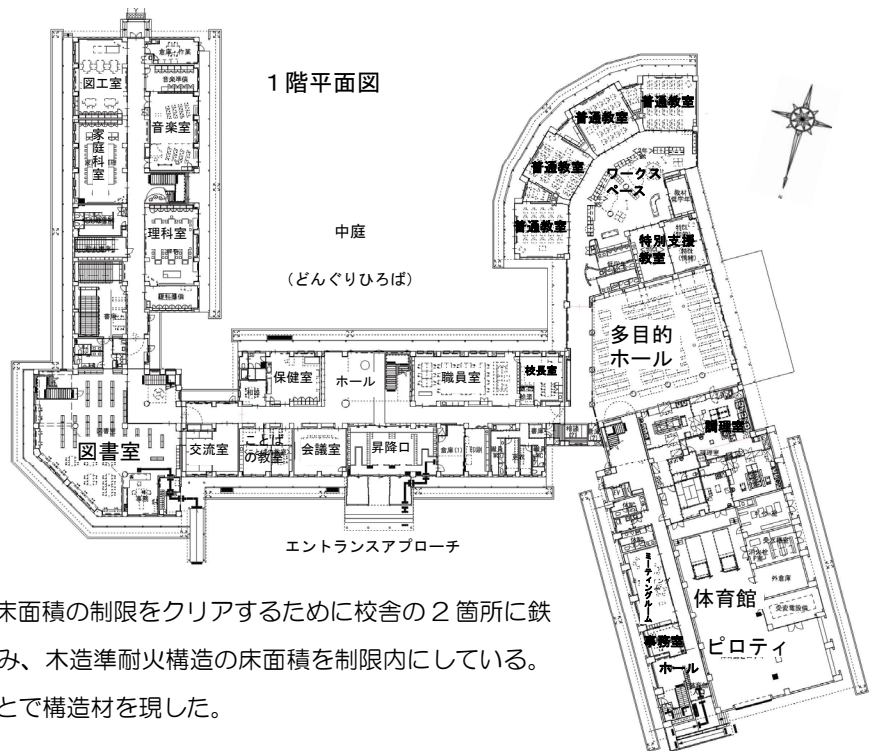
15m×20mの大きさの多目的ホールの屋根は十分な積雪荷重を見込んで、梁高 1.1mの集成材による格子張で構成している。

●防火、耐火上の考慮点

建物全体としては準耐火構造であるが、延べ床面積の制限をクリアするために校舎の2箇所に鉄筋コンクリート造による耐火構造部分を挟み込み、木造準耐火構造の床面積を制限内に行っている。準耐火仕様として木造部は燃え代設計を行うことで構造材を現した。



《図書館》右手上部2階は調べ学習室



■事業概要

設計者：株式会社 羽田設計事務所
 施工者：(建築) 株式会社 高松木材
 (電気) 日本電設工業 株式会社 山形営業所
 (機械) 弘栄設備工業 株式会社
 工期：平成 21 年 8 月～平成 22 年 11 月

設計費： 50,302 千円
 建設費：(建築) 1,188,053 千円
 (電気) 142,863 千円
 (機械) 161,276 千円
 (合計) 1,492,192 千円
 1㎡あたりの建設費： 214千円